

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 酢酸
 会社名 : 関東化学株式会社
 住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1
 担当部門 : 電子材料事業本部 技術部
 電話番号 : (03)6214-1080
 F A X 番号 : (03)3241-1043
 メールアドレス : el-info@gms.kanto.co.jp
 整理番号 : GE00271

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分3
 自然発火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外
 急性毒性（経皮） : 区分4
 皮膚腐食性・刺激性 : 区分1 B
 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分1

特定標的臓器/全身毒性（単回暴露） : 区分1

環境に対する有害性

水生毒性（急性） : 区分3
 水生毒性（慢性） : 区分外

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : 引火性液体および蒸気
 皮膚に接触すると有害
 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
 重篤な眼の損傷
 血液、呼吸器の障害
 水生生物に有害

注意書き

安全対策 : 熱、火花、裸火などの着火源から遠ざける。
 容器は密閉する。
 移送、攪拌する場合は、容器および受器をアースする。

- 防爆型の機器を使用する。
 火花を発生しない工具を使用する。
 粉じん、ミスト、蒸気などを吸入しない。
 環境への放出を避ける。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。
 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。
 使用後は保護具をよく洗う。
 取扱い後はよく手を洗う。
- 救急処置** : 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは、医師の処置を受ける。
 飲み込んだ場合：口をすすぐ。無理に吐かせない。直ちに医師の処置を受ける。
 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。
 皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。皮膚を流水で洗う。直ちに医師の処置を受ける。
 暴露した場合：医師の処置を受ける。
- 保管** : 換気の良い冷暗所に保管する。
 施錠して保管する。
- 廃棄** : 内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理する。

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 単一製品
 化学名又は一般名 : 酢酸
 別名 : 氷酢酸
 成分及び含有量 : 酢酸 99.8%以上
 化学特性（示性式） : CH_3COOH
 官報公示整理番号 :
 化審法 : 2-688
 安衛法 : 公表
 CAS No. : 64-19-7
 危険有害成分 : 酢酸

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
 目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流し、眼科医の処置を受ける。
 飲み込んだ場合 : 直ちに水またはできれば卵白を混ぜた牛乳を飲ませ、医師の処置を受ける。無理に吐かせてはならない。
 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡
 使ってはならない消火剤 : 特になし
 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
 消火作業は、風上から行う。

初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。露出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

回収、中和 : 漏洩した液はけいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。火気に注意する。

注意事項 : 密閉された装置、機械、または局所排気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行なう。

保管

適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料 : ガラス、ふっ素樹脂、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 (2016年度版)

: 10ppm、25mg/m³

ACGIH (2015年度版)

: 10ppm (TLV-TWA)

15ppm (TLV-STEL)

保護具

呼吸器用の保護具 : 防毒マスク (酸性ガス用) または送気マスク

手の保護具 : 耐酸性手袋

眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣 (長袖作業衣)、保護長靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 液体

色 : 無色

臭い : 刺激臭

pH : 2.5 (20g/L、20°C)

沸点 : 118.5°C

融点	: 16.5°C
引火点	: 39°C
発火点	: 463°C
爆発特性	
爆発限界	: 上限 : 19.9vol% 下限 : 4.0vol%
蒸気密度	: 2.1
密度	: 1.05g/cm ³ (20°C)
溶解性	
溶媒に対する溶解性	: 水 ; 自由に混合 有機溶媒 ; エタノール、グリセリンと自由に混合

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常条件で安定である。
反応性	: アルカリ性物質と接触すると反応する。
避けるべき条件	: 日光、熱
混触危険物質	: アルカリ性物質、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	: 経口 : 区分外 皮膚に接触すると有害(区分4) 吸入(蒸気) : データ不足のため分類できない 吸入(粉塵・ミスト) : データ不足のため分類できない ラット 経口 LD50=3310mg/kg ウサギ 経皮 LD50=1060mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷(区分1B) 動物実験で50%以上の濃度の酢酸の投与で皮膚の壊死およびやけどがみられる、腐食がみられるなどの記載がある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	: 重篤な眼の損傷(区分1) ウサギにおいて液体氷酢酸は眼に破壊的な損傷を起こし、16%の酢酸は恒久的な角膜損傷を起こした。また、人での事故で角膜の麻痺や混濁は永久に残ったなどの記載がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない 皮膚感作性 : データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性	: データ不足のため分類できない in vitro 変異原性試験での陰性の結果以外にデータがないため、分類できないとした。
発がん性	: データ不足のため分類できない
生殖毒性	: データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露	: 血液、呼吸器の障害(区分1)

ヒトにおいて、播種性血管内凝固障害、重度の溶血のような血液への影響が報告されているので区分1(血液)とした。また、ヒトで吸入暴露による鼻、上気道、肺に対する刺激性の記載、ヒトが蒸気を吸入すると気道腐食性、肺水腫が見られることがあるとの記述があり、区分1(呼吸器)とした。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露

: データ不足のため分類できない

吸引性呼吸器有害性

: データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性

: 水生毒性 (急性) 水生生物に有害 (区分3)

水生毒性 (慢性) : 区分外

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=65mg/L/48H

残留性/分解性

: 微生物などによる分解性が良好と判断される物質である。

生体蓄積性

: 魚介類の体内において、蓄積性がない、あるいは低いと判断される物質である。

土壌中の移動性

: データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

: アルカリで中和した後、大量の水とともに下水に流す。あるいは、スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。

または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器

: 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制

消防法

: 危険物第4類引火性液体第2石油類水溶性液体

道路法

: 施行令第19条の13 (通行制限物質)

船舶安全法

: 危規則第3条危険物告示別表第1腐食性物質

航空法

: 施行規則第194条危険物告示別表第1腐食性物質

国連分類

: クラス8 (腐食性物質) 等級II

国連番号

: 2789

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

緊急時応急措置指針番号

: 132

海上規制情報

UN No.

: 2789

Proper shipping name

: ACETIC ACID, GLACIAL

Class

: 8

Sub risk

: 3

Packing group

: II

Marine pollutant

: Not applicable

航空規制情報

UN No.

: 2789

Proper shipping name

: Acetic acid, glacial

